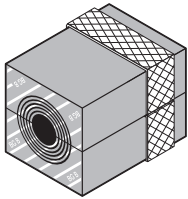


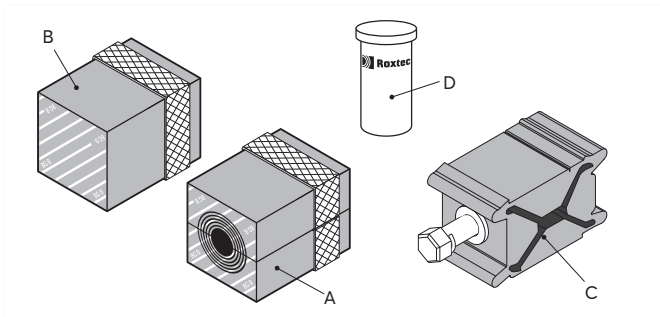
# 施工説明書

## Roxtec CM BG™ B システム



**安全に関する情報**  
施工は、設備を停止してから行うことをおすすめします。国内の規制や施工に関する法令に従ってください。敷設済みの配線や設備に影響がある場合は、メーカーの指示に従って施工してください。

### 構成部品



A: Roxtec CM BG™ B モジュール  
B: Roxtec CM BG™ B ソリッドモジュール  
C: 圧縮ユニット (該当する場合)  
D: Roxtec 潤滑剤

### 追加情報



図面、開口部情報、動画、保護認証、証明書などの情報は、QR コードをスキャンするか、[roxtec.com](http://roxtec.com) にアクセスしてご覧ください。

### 工具

- Roxtec 施工補助ツール (含まれません)
- ケーブルストリッパー ケーブルメーカー推奨品 (含まれません)
- 導通テスター (含まれません)
- スパナ(含まれません)
- 六角レンチ (含まれません)

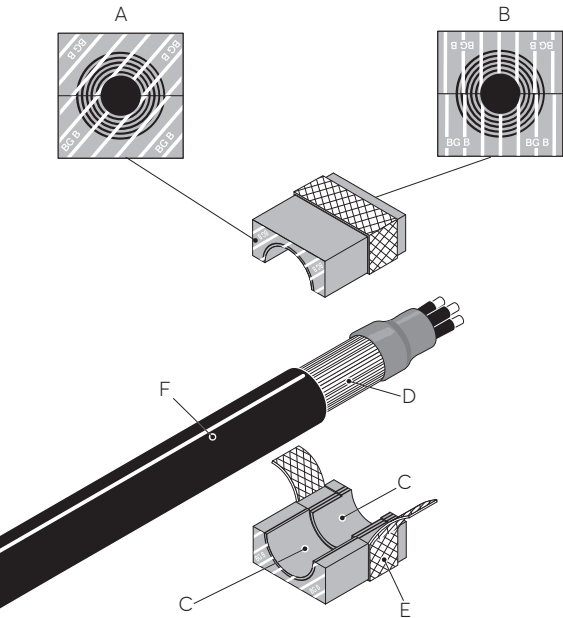
# 技術情報

名称	外径WxHxD (mm)	ケーブルまたはパイプ Ø (mm) 用	編組断面 / ケーブル (mm <sup>2</sup> )	ほぼ同サイズの AWG
CM 20 BG B	20×20×40	4 - 14.5	8	8
CM 20w40 BG B	40×20×40	3.5 - 16.5	4	11
CM 30w40 BG B	40×30×40	10 - 25	13	6
CM 40 BG B	40×40×40	21.5 - 34.5	21	4
CM 40 10-32 BG B	40×40×40	9.5 - 32.5	21	4
CM 10w40/0 BG B	40×10×40	0	-	-
CM 20/0 BG B	20×20×40	0	-	-
CM 40/0 BG B	40×40×40	0	-	-

各モジュールの適用範囲は、露出するケーブルアーマー部の最小径からケーブル外被の最大径を示しています。 芯棒付きのモジュールは予備モジュールとして使用可能です。

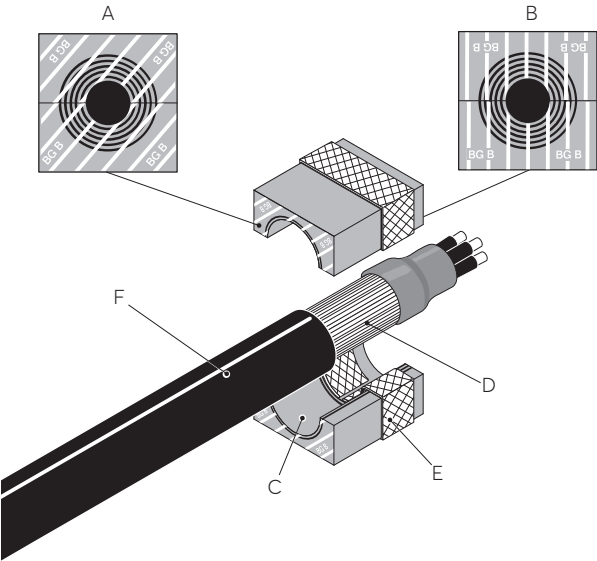
# モジュールに収まるケーブルの位置

- A. 環境側
- B. 終端 / 屋内側
- C. 剥がせるゴム層

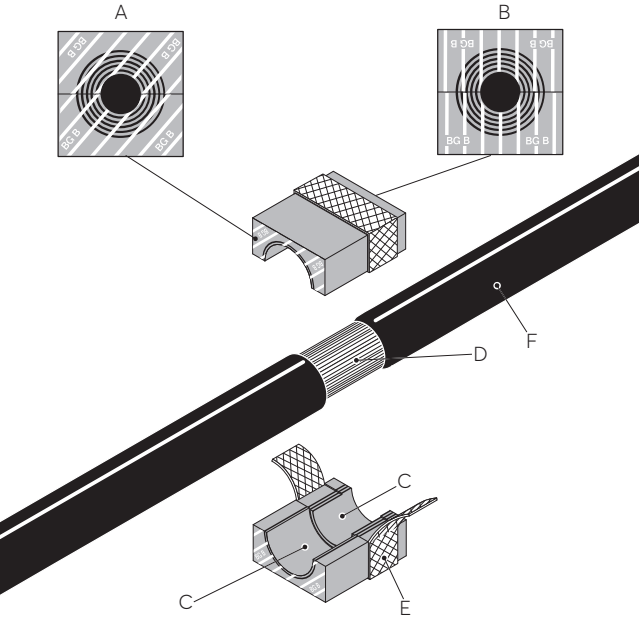


端末処理済みアーマードケーブル

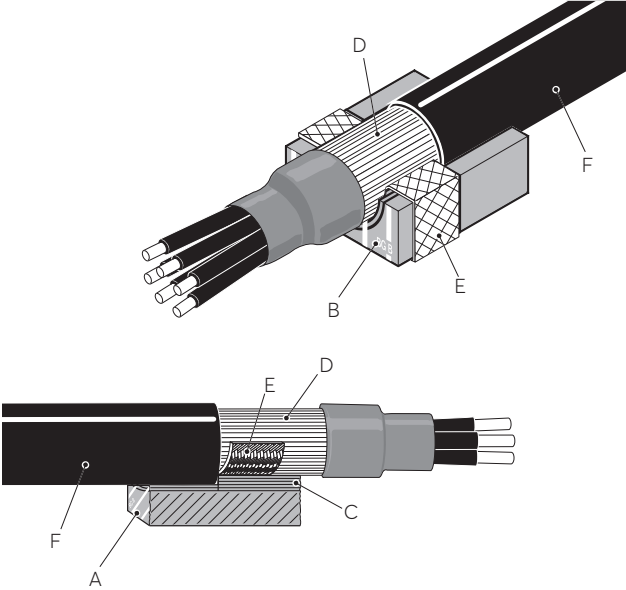
- D. ケーブルアーマー部
- E. ボンディング / 接地用ブレイド
- F. ケーブル外被



ブレイドが折り込まれた状態

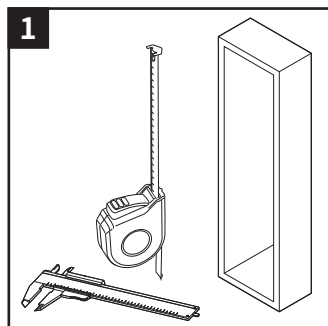


端末処理せず配線されるアーマードケーブル

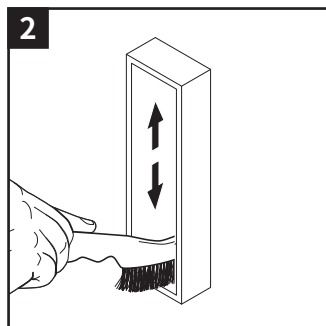


モジュール半体とケーブルの位置関係 ケーブル外被の端部は、剥がせるゴム層の端部と接触するよう配置してください。

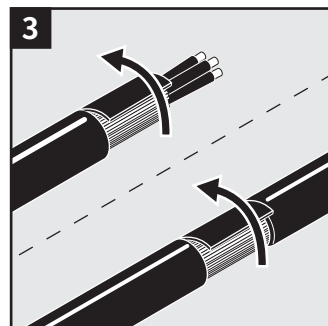
# 施工手順



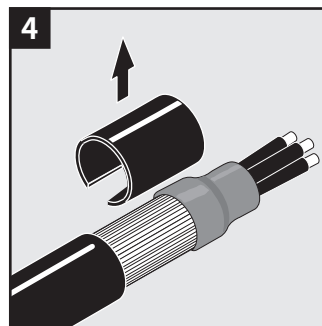
パッキングスペースを確認してください。



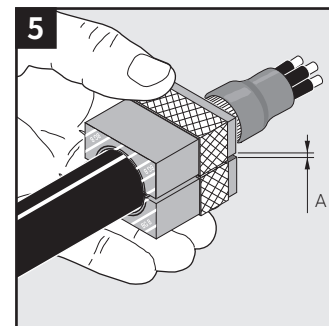
開口部の汚れを取り除きます。



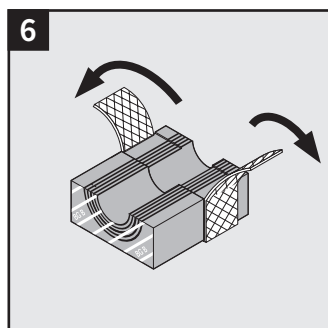
外被とプラスチック箔をすべて除去します。ケーブルのアーマー部分は、導電性を確保できるきれいな状態にしてください。



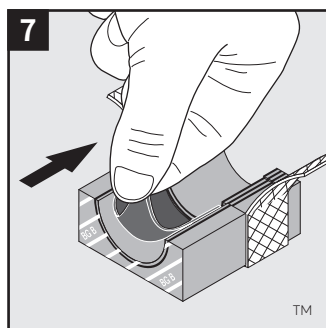
ケーブルのアーマー端部を固定します。



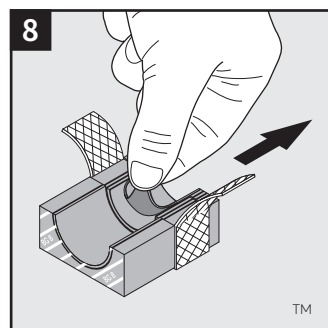
対になるモジュール間の隙間 (A) が 0.1~1.0 mm になるように、層を剥がします。ケーブルのアーマー部分がブレイドと接触するようにします。



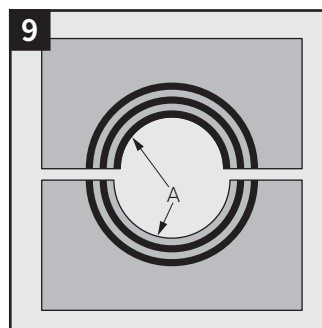
芯棒を取り除き、ブレイドを外側へ開きます。「開口部が複数ある場合のモジュールの取り扱い方」のセクションも参照してください。



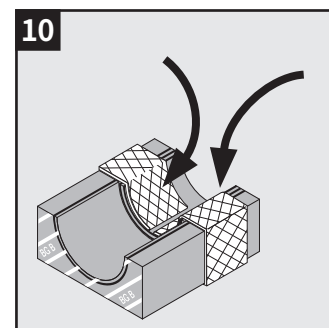
ケーブル外被と接触するゴム層を調整します。



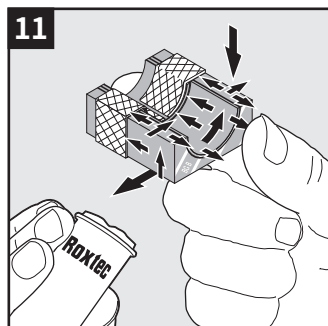
ケーブルのアーマー部と接触するゴム層を調整します。



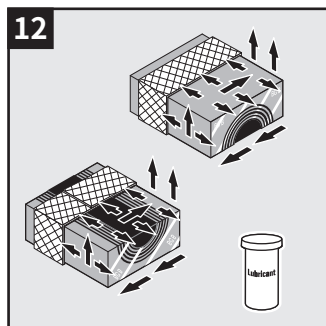
図の A で示す通り、対になるモジュールのレイヤー枚数差は 1 枚までです。



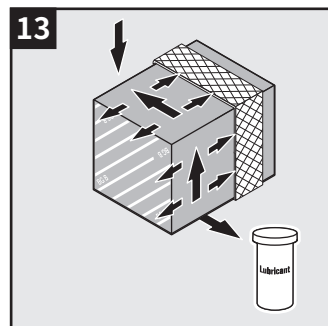
ブレイドをモジュールの内側にしっかりと折り込みます。隙間を確認します。



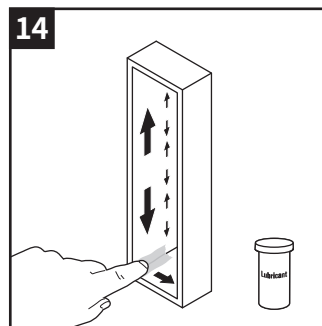
すべてのモジュールのシーリング面に Roxtec 潤滑剤を塗ります。ブレイドには潤滑剤を塗らないよう注意してください。



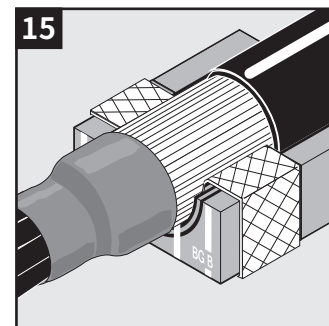
予備用モジュールのシール面にも潤滑剤を塗ります。芯棒は取り外さないでください。



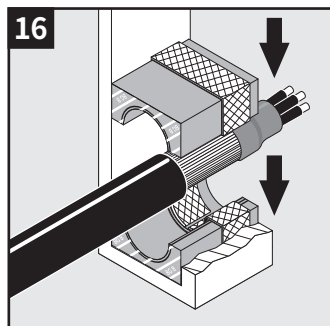
ソリッドモジュールのシール面に潤滑剤を塗ります。



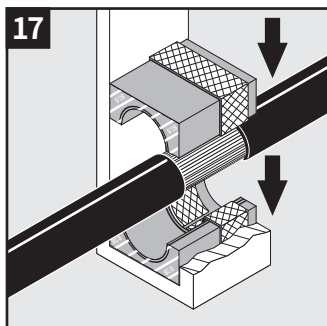
フレーム内側に潤滑剤を塗ります。角部は念入りに塗ります。ブレイドと接触する部分には、潤滑剤を軽く塗るだけにしてください。



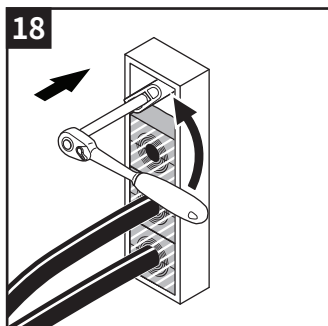
ケーブルをモジュールの上に配置する際、ケーブルのアーマー部は終端側でモジュール外側から見えている状態が正しい施工です。



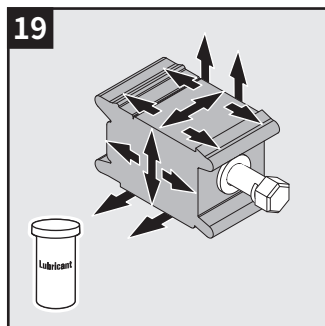
パッキングプランに従って、モジュールの上にケーブルを配置します。対になるモジュールを上に乗せます。



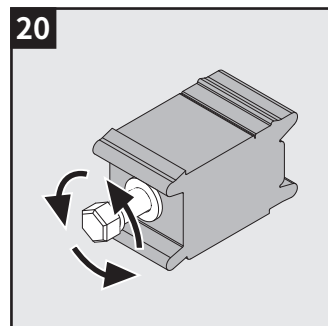
端末処理されていない配線の場合、終端側でケーブルアーマー部が見えるように配置してください。



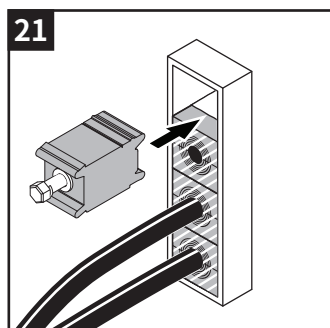
必要に応じて Roxtec プリ・コンプレッション・ツールを使用し、圧縮ユニットを挿入するスペースを作ります。



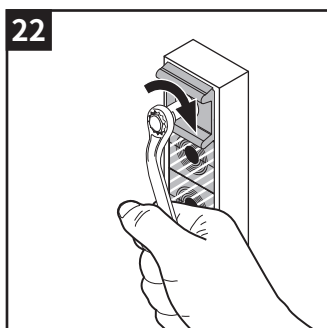
圧縮ユニットのシーリング面に潤滑剤を塗ります。



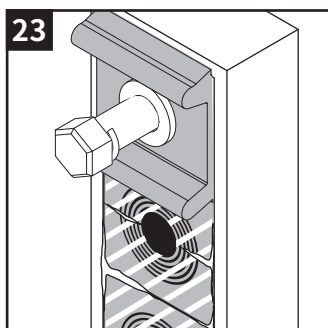
圧縮ユニットを挿入する前に、ボルトを反時計回りに完全に止まるまで回します。



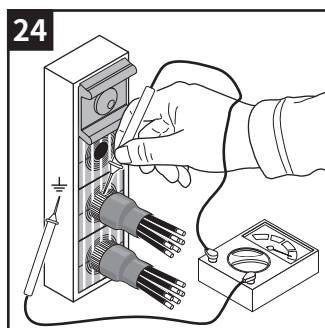
圧縮ユニットを挿入します (該当する場合)。



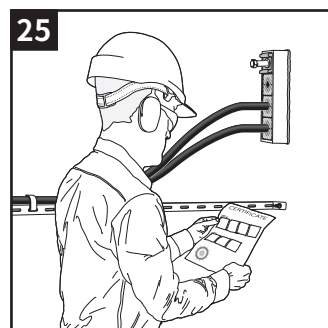
機械的に完全に止まるまで、または推奨トルク値までボルトを締め付けます。



余分な潤滑剤を目視確認できれば、十分密閉できている証拠です。

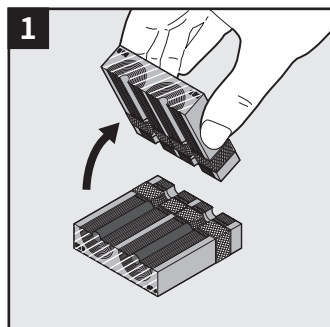


電氣的導通テストをおすすめします。

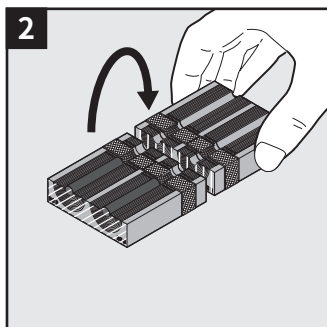


必要に応じて、追加の文書を確認してください。

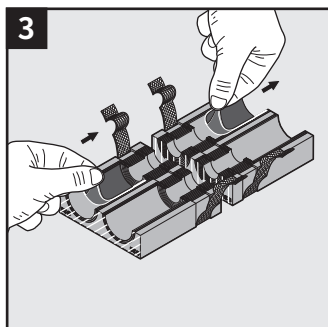
## 開口部が複数ある場合のモジュールの取り扱い方



開口部が複数ある場合は、特に注意をしてモジュールのレイヤーを剥がしてください。



モジュールの混同を避けるため、各開口部毎に、図のように半体を対にして並べます。



開口部毎にレイヤーを調整し仕上げるようにしてください。





# 注

- 接地・等電位ボンディングと同時に、外環境からの物質侵入を防ぐ複合的保護が可能なシーリングシステムです。 アーマードケーブル、シールドケーブル、パイプに使用します。
- アーマードケーブル、シールドケーブル以外の場合は、外被を除去しません。 その場合、等電位ボンディングと接地は施されません。
- 確かな性能を確保するには、施工後 24 時間はケーブルやパイプに負荷や圧力をかけないでください。
- ケーブルの準備に関する参考情報は、www.roxtec.com に掲載しています。
- ケーブルはフレームに対して垂直な角度で挿入してください。
- 次の部品と組み合わせて使用してください： Roxtec CM BG B モジュール
- フレーム開口部が 2 つ以上ある場合は、すべての開口部を埋めた後に圧縮ユニットを締め付けると施工がしやすくなります。
- 等電位ボンディングと接地の処理は、適用される規制に準拠して行ってください。
- 承認や認証の中には、この用途に関する改正点や制限条件がある場合があります。
- 本施工説明書および関連文書の最新バージョンは、roxtec.com をご確認ください。

# 施工後の検査

- 余分な潤滑剤が絞り出されている状態を目視できますか？
- フレームに対応するパッキングスペースの高さと照らし合わせて、モジュール構成の高さは正しいですか？

## 免責事項

Roxtec ケーブルおよびパイプ・エントリー・シーリング・システム（以下、「Roxtec システム」）は様々な部品から構成されるモジュラー式のシーリングシステムです。 それぞれの構成部品は、Roxtec システムが最大限の性能を発揮するために欠かすことができません。 Roxtec システムは、様々な危険への耐性を認証されています。 このような認証や耐性は、Roxtec システムを構成するすべての部品に依存するものです。 したがって、Roxtec システムを構成するすべての部品が Roxtec のライセンスを受けて製造されたもの（以下、このようなライセンスを受けた業者を「認定製造業者」とする）でない限り、認証は無効となり適用されません。 なお、Roxtec では以下要件の両方が満たされない限り、Roxtec システムの性能を保証しないものとします。(I) Roxtec システムを構成するすべての部品が認定製造業者により製造されていること、(II) 買主が以下の (a) ならびに (b) を遵守していること。

(a) Roxtec システムまたはその部品は、納入時のパッケージに入れたまま屋内で室温保管する。

(b) 施工は、その時点で有効な Roxtec の施工指示に従って行う。

Roxtec は製品情報を提供しますが、Roxtec システムまたはその構成部品の購

入者は、予定している作業方法、施工または用途に製品が適合するかどうかを、自身で判断する義務を負います。

Roxtec は、認定製造業者以外によって製造された構成部品を使用した Roxtec システム、または、本来の仕様や目的とは異なる方法や用途での施工により生じた損失または損害について、直接的、間接的、二次発生的、喪失利益、その他いずれの種類であるかを問わず、Roxtec システムまたはその部品に対して保証を行わず、一切の責任を負わないものとします。

Roxtec は、商品性および特定目的に対する適合性に関する黙示的な保証、ならびに制定法または判例法により定められたすべての明示的または黙示的な表明と保証を明示的に除外します。 ユーザーは Roxtec システムが意図する使用に適合するかどうかを判断し、その判断に関するすべてのリスクと責任を負うものとします。 いかなる場合も、Roxtec は、間接的、結果的、懲罰的、特別、または付随的な損害または損失には責任を負いません。

Roxtec の製品は、Roxtec の一般販売条件に従って提供・販売されます。 Roxtec の一般販売条件の最新版は、roxtec.com/general-terms-of-sales で閲覧・ダウンロードできます。



Roxtec International AB  
Box 540, 371 23 Karlskrona, SWEDEN  
+46 455 36 67 00, info@roxtec.com  
www.roxtec.com